

第1日目 3月27日 (金) 午前

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
		〈経済・産業〉
9:00		201 原 真志 (香川大) : エフェクチュエーションの経済地理学に向けて—熟達起業家の意思決定の空間性
	〈地理教育〉	
9:20	102 山地萌果* (JAXA)・松本 淳 (首都大) : 衛星全球降水マップGSMaPの概要と地理教育分野での活用	202 宮町良広 (大分大) : グローバル生産ネットワーク論—英語圏経済地理学における近年の理論的發展
9:40	103 山内啓之 (東京大) ほか : 中高生を対象としたGISの教育プログラムの実践と評価	203 勝又悠太郎 (広島大・院) : 1990年代以降における地場産業の生産動向とその地域的特徴—『工業統計表』を用いた分析の試み
10:00	104 長谷川直子 (お茶の水女子大) ほか : 地理関連定期刊行雑誌と地理学のアウトリーチ	204 大西宏明 (明治大・学) : オンライン化に伴う旅行代理店の実店舗の立地推移—JTBとHISの事例
10:20	105 湯田ミノリ (福岡女子大) : フィンランドの小学校における科目「環境」と地理教育	205 戸松篤志 (東京学芸大・院) : 日本におけるアニメ関連商業集積の規模と取扱商品の特徴
10:40	106 金 珠辰 (北海道教育大) : 「地理の再文脈化」研究に関する国際的動向—2019 IGU-CGE ロンドン大会の発表要旨の分析	206 中村 努 (流通経済大) : 高知県沿岸部における津波防災対策にみる共助の特徴
11:00	107 石毛一郎 (千葉県立成田国際高) ほか : 千葉県公立高校における地理の授業時数と専門教員数	207 秦 洋二 (流通科学大) : 病理診断サービスの空間特性と企業戦略—株式会社パソネットを事例に
11:20	108 小林岳人 (千葉県立千葉高) : 高等学校地理教育における教科科目と部活動の連携—教科科目連動型部活動“地理部”	208 阿部康久* (九州大)・高 寧 (九州大・院) : 新興国におけるフランチャイズ・チェーンの店舗網の地域的拡大とその特徴—中国の靴チェーン大手5社を事例として
11:40	109 移川恵理* (仙台市立仙台高)・吉田剛 (宮城教育大) : ロシア連邦の認識を深める高校地理授業実践	209 駒木伸比古 (愛知大) : 近年におけるショッピングセンターの多様化とその検討—立地とサービスの視点から
12:00	<p style="font-size: 2em; margin: 0;">昼 休 み</p>	

第1日目 3月27日 (金) 午前

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
<p>〈人口〉</p> <p>301 山内昌和（早稲田大）ほか：東京大都市圏の結婚出生力と人口移動</p> <p>302 薄井 晴（筑波大・院）：日本国内における出生率の地域差とその規定要因—国勢調査市区町村統計表および都市雇用圏による分析</p> <p>303 小坪将輝*（東北大・学）・中谷友樹（東北大）：空間的相互作用モデルにおける介入機会の新たな定式化—日本の通勤流動と人口移動を対象として</p> <p>304 井上 孝（青山学院大）：台湾版小地域別将来人口推計ウェブマッピングシステムの公開について</p> <p>〈エスニシティ〉</p> <p>305 小谷真千代（神戸大・院）：日系旅行社によるデカセギ幹旋ネットワークの拡大過程</p> <p>306 李 政宏（法政大・院）：台湾系留学生の移動と生活様式に関する考察</p> <p>307 山下清海（立正大）：第二次世界大戦後の横浜中華街の変容とその要因</p> <p>308 南埜 猛*（兵庫教育大）・澤 宗則（神戸大）：ネパールにおける留学ビジネス—日本語「学校」の戦略</p> <p>309 澤 宗則*（神戸大）・南埜 猛（兵庫教育大）：ネパール料理人のエスニックビジネス—神戸のインド料理店のエスニック戦略</p>	<p>〈都市・人口移動〉</p> <p>401 岩井優祈*（筑波大・院）・松井圭介（筑波大）：鹿嶋市中心商業地における商業空間と観光空間の混雑化に関する研究</p> <p>402 石原 肇（大阪産業大）：2019ラグビーワールドカップ期間中のパルイベントによる地域活性化—東大阪ラグビーバルを事例として</p> <p>403 松尾卓磨（大阪市立大・学振DC）：ジェントリフィケーション研究における立ち退きの類型化とアプローチの展開</p> <p>404 藤塚吉浩（大阪市立大）：東京都心周辺部におけるジェントリフィケーション</p> <p>405 埴淵知哉（中京大）ほか：クラウドソーシングによる系統的・仮想的社会観察—米国オレゴン州ポートランド市における街路景観の変化</p> <p>406 栗林 梓（名古屋大・院）：学生の地理学からみた都市空間の変容—京都府京田辺市における学生マンションの需給関係に着目して</p> <p>407 中澤高志（明治大）：地方都市への移住者と多様な働き方—大分県佐伯市の事例</p> <p>408 西村麻実*（早稲田大・学）・箸本健二（早稲田大）：地方都市における地元志向型就業者の意識と居住地選択—山形県東根市の製造業従事者を対象として</p> <p>409 佐藤彩子（鳥取環境大）：地方圏で働く介護職員の職業経歴と定着プロセス—福岡県筑豊地域の特別養護老人ホームを対象として</p>	<p>9:00</p> <p>9:20</p> <p>9:40</p> <p>10:00</p> <p>10:20</p> <p>10:40</p> <p>11:00</p> <p>11:20</p> <p>11:40</p> <p>12:00</p>
<p>昼 休 み</p>		

第1日目 3月27日 (金) 午前

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
9:00		
9:20	<p>〈気候〉</p> <p>502 三上岳彦 (首都大・名誉) ほか：諏訪の冬季気温季節内変動と結氷・御神渡り発生との関連</p>	
9:40	<p>503 小林雄河 (中国 陝西師範大・院) : 1600~1910年の朝鮮半島における風水害記録の残存状況およびその分析</p>	<p>〈地形〉</p> <p>603 佐藤俊文 (駒澤大・院) : 房総半島中西部湊川下流域の地形発達 (その2)</p>
10:00	<p>504 平野淳平 (帝京大) ほか：19世紀後半の長崎における降雪日出現率の変動と大気循環場変動との関係</p>	<p>604 植木岳雪 (千葉科学大) : 茨城県南部, 土浦低地における最終氷期以降の地形発達史</p>
10:20	<p>505 北林 翔* (首都大・院) ・高橋 洋 (首都大) : 火山噴火後の地表気温応答の評価—ENSOとの関連性</p>	<p>605 小荒井 衛 (茨城大) ほか：茨城県における谷底平野の勾配と液状化発生リスクとの関係</p>
10:40	<p>506 一ノ瀬俊明 (国立環境研) : 最小スケール気候変動適応策としての被服色彩選択効果について</p>	<p>606 石井祐次 (学振PD・産業技術総合研) ほか：メコン川の氾濫原における自然堤防の発達過程</p>
11:00	<p>507 藤部文昭*・松本 淳 (首都大) : 気候変動と暑熱に関連する新聞記事件数の経年変化</p>	<p>607 永井 遥*(早稲田大・院)・久保純子 (早稲田大) : 都市河川におけるNatural Flood Managementの有効性の検証—英国と日本の河川を事例として</p>
11:20	<p>508 永田玲奈 (日本大・非常勤) ほか：過去69年間に関東地方に來襲した台風の経路変化</p>	<p>608 大内俊二 (中央大) : 実験地形の発達における降雨量と砂山の透水性の影響</p>
11:40	<p>509 久保田尚之 (北海道大) : 日本に上陸した台風の位置や強度の長期変動</p>	<p>609 木村 颯 (九州大・院) ほか：与那国島における中新統堆積岩の海食崖地形</p>
12:00	<p>昼 休 み</p>	

第1日目 3月27日 (金) 午前

第 7 会 場	第 8 会 場	開始時刻
<p>〈災害〉</p> <p>702 奥山加蘭 (信州大・学) : 諏訪地域における昭和19年東南海地震の被害状況の復元</p> <p>703 内山琴絵 (名古屋大・学振DC) : 災害研究の人文地理学的アプローチの成果と課題</p> <p>704 鹿嶋 洋 (熊本大) : 熊本地震による製造業企業の被災状況と復旧過程に関する分析—熊本県工業連合会会員企業に対するアンケート調査に基づいて</p> <p>705 岩船昌起 (鹿児島大) : 避難所での適切な生活空間の確保のための図上訓練の実践—パーソナル・スケールでの災害記録に基づく教材開発</p> <p>706 高橋輝行 (早稲田大・院) : リモートセンシングを用いた気象災害下における子どもの健康状態の影響評価—エチオピアの2015/16年干ばつ被害を事例に</p> <p>707 若狭 幸 (弘前大) : UAVマルチ/ハイパースペクトルリモートセンシングを用いた災害調査の可能性</p> <p>708 中埜貴元 (国土地理院) ほか : 河川氾濫時の湛水量の最適な計算手法の検討—浸水シミュレーションデータを用いた検証例</p> <p>709 小室 隆* (港空研) ・山室真澄 (東京大) : 手賀沼における樹林化による埋積が引き起こす洪水氾濫発生の可能性</p>	<p>〈歴史・文化①〉</p> <p>801 Soliman, M. A. (National Research Institute of Astronomy and Geophysics (NRIAG)): Heterogeneity of ancient Alexandria and subsidence phenomena: Disaster threatens the urban cultural heritage sustainability</p> <p>802 阿部志朗 (島根県立益田翔陽高) : 海上輸送と繋がった近代河川舟運による石見焼の流通</p> <p>803 米家泰作 (京都大) : 日本統治期の澎湖島の植生史論争にみる科学的林業と植民地的環境主義</p> <p>804 廣野聡子 (早稲田大・院) : 植民地台湾における手押台車軌道の発展過程と地域社会において果たした役割に関する検討—台湾軌道株式会社を事例に</p> <p>805 後藤泰彦 (千葉県立磯辺高) : 銭湯の現状—千葉県を例に、地理学的研究対象の可能性を提示して</p> <p>806 添谷尚希 (新潟大・院) : 市街化地域における私設浴場の展開とその制御—大正末期の東京府巣鴨地域を事例に</p> <p>807 鈴木晃志郎 (富山大) ほか : 心霊スポットは何と空間的に随伴するのか</p> <p>808 松山周一 (筑波大・院) : “Comics Geography”の登場と“マンガの地理学”の可能性—国内外における研究動向をもとに</p> <p>809 益田理広 (琉球大) : 「地理」前史—易学による学術用語化以前の「地理」</p>	<p>9:00</p> <p>9:20</p> <p>9:40</p> <p>10:00</p> <p>10:20</p> <p>10:40</p> <p>11:00</p> <p>11:20</p> <p>11:40</p>
<p>昼 休 み</p>		<p>12:00</p>

第1日目 3月27日 (金) 午前

開始時刻	第 9 会 場	
	(GIS・地図)	
9:00	901	Wang, R. (Univ. of Tsukuba, Grad. Student) : Impacts of land use/cover on land surface temperature: A case study of Sapporo, Japan
9:20	902	Liu, F. (Univ. of Tsukuba, Grad. Student): Impacts of land use/cover pattern on the urban thermal environment: A case study of ten megacities in China using Landsat data
9:40	903	Dissanayake, D.* (Univ. of Tsukuba, Grad. Student.) and Morimoto, T. (Univ. of Tsukuba): Development of an Agriculture Sustainability Index (ASI) using multi criteria geospatial modelling: A case study of Kotmale Catchment Area, Sri Lanka
10:00	904	Ranagalage, M. (Univ. of Tsukuba, Grad. Student) et al.: Spatial evaluation of potential Tsunami vertical evacuation: A case study of the western coastal belt in Sri Lanka
10:20	905	増山 篤 (弘前大) : 段階的意思決定を考慮した時空間アクセシビリティ指標
10:40	906	森田 喬 (法政大・名誉) : 国際地図学会議の起源とその展開に関する考察
11:00	907	若林芳樹 (首都大) : 地図学・地理情報科学におけるWaldo Toblerの遺産とその継承
11:20	908	大西宏治 (富山大) : バーバラ・ベチュニク子供地図作品展とICC地図と子供コミッション
11:40	909	西村雄一郎* (奈良女子大) ・瀬戸寿一 (東京大) : クラウドソース型ウェブ地図に関わるマッピング・コミュニティの拡大
12:00	<p>昼 休 み</p>	

第1日目 3月27日 (金) 午後

第 1 会 場	第 2 会 場	開始時刻
シンポジウム I (公開)	〈観光〉 211 太田 慧(高崎経済大):沖縄県宮古島における利用料金別にみた宿泊施設の特徴 212 池田千恵子(大阪成蹊大):観光産業の拡大による宿泊施設の過剰供給—石川県金沢市を事例として 213 綱川雄大(明治大・学):軽井沢における宿泊業の労働力確保の特徴 214 小室 譲(筑波大・院):ブリティッシュコロニア州ウィスラーにおける外国人労働者の役割 215 北島晴美*(信州大)・安江悠斗(信州大・学):上高地の観光と環境保全に関する観光客の意識 216 横田祐季*(東京大・学)・横山ゆりか(東京大):聖地巡礼を通じたアニメファン の地域愛着と聖地移住のプロセス『ラブライブ!サンシャイン!!』聖地静岡岡県沼津市の場合 217 阿部 諒(駒澤大・院):日本人の世界一周旅行に見る行動の空間的特徴 218 森 泰規(博報堂):クリエイティブな勤労意識と日本庭園来訪実績等の相関 219 塩崎大輔*(北海道大・院)・橋本雄一(北海道大):ニセコヒラフ北部地区の登記情報を用いた不動産の空間分析 220 前田陽次郎(長崎農産品貿易):長崎県対馬市の産業構造と観光業の現況と将来像に対する経済地理学的分析 221 中山徳孝(川村学園女子大):戦後期における観光都市の発展と中央政府の役割—大分県別府市を事例に 222 松岡 農(駒澤大・院):震災遺構を拠点とした新たなツーリズムの課題—震災遺構仙台市立荒浜小学校を事例に	13:00
日本のジオパーク活動 —これまでの10年, これからの10年—		13:20
日本地理学会ジオパーク対応委員会 [オーガナイザー] 目代邦康(東北学院大)・新名阿津子(伊豆半島ジオパーク推進協議会)・植木岳雪(千葉科学大)		13:40
開始時刻 13:00		14:00
[趣旨説明] 13:00-13:10		14:20
目代邦康(東北学院大)		14:40
[座長] 目代邦康・植木岳雪		15:00
S101 13:10-13:30 齊藤清一(日本ジオパークネットワーク): ジオパーク活動10年の成果		15:20
S102 13:30-13:50 渡辺真人(産業技術総合研):世界のジオパークとの比較から見た日本のジオパーク		15:40
S103 13:50-14:10 中村有吾(室戸ジオパーク推進協議会): ユネスコ世界ジオパークとしての10年		16:00
S104 14:10-14:30 青木賢人*(金沢大)・日比野 剛(白山手取川ジオパーク推進協議会):ジオパークの「審査」を受ける側として考えること—白山手取川ジオパークの場合		16:20
[討 論] 14:30-14:45		16:40
S105 14:50-15:10 朝日克彦(伊豆半島ジオパーク推進協議会):ユネスコ世界ジオパークの概念—わが国での実践における齟齬		17:00
S106 15:10-15:30 松田裕之(横浜国立大):ユネスコMAB活動の成果と課題		
S107 15:30-15:50 浅野敏久(広島大):エコミュージアム活動の成果と課題		
S108 15:50-16:10 新名阿津子(伊豆半島ジオパーク推進協議会):日本におけるジオパークのこれからを考える		
[討 論] 16:10-16:50		
終了時刻 16:50		
表 彰 式 17:00-17:30		
会 長 講 演 17:30-18:15		

第1日目 3月27日 (金) 午後

開始時刻	第 3 会 場	第 4 会 場
	〈農業・農村〉	〈海外地域研究〉
13:00	311 三浦寛人(横浜国立大・院):秋田県旧八竜町における園芸産地の変容	411 大石太郎(関西学院大):カナダ, 沿海諸州におけるフランス系住民アカディアンの記憶と継承—世界アカディアン会議を中心に
13:20	312 相馬拓也(京都大):ネパール西部におけるキウイ果樹栽培を軸とした村落開発アグロフォレストリーの社会実践	412 申知燕(東京大):グローバルシティにおける韓人のトランスナショナルな移住とエスニック空間の多様化—エスニックなオンラインサイトおよびコミュニティの集住地への影響を中心に
13:40	313 後藤拓也(広島大):日本における植物工場の立地展開に関する地理学的分析—企業の農業参入に関する地理学的研究の一環として	413 李宝峰(大阪大・院):ピエンチャンの新中華街における中国系移民
14:00	314 平山弘*・山口晴子(阪南大):大阪府松原市 難波葱のブランド化に見る可能性	414 松宮邑子(明治大・院):囲い込みから購入へ—ウランバートル・ゲル地区におけるハシヤーの商品化
14:20	315 池田堯弘(金沢大・院):様々な主体による保全に向けた取り組みからみた棚田の商品化—石川県輪島市「白米千枚田」を事例に	415 山下博樹(鳥取大)ほか:モンゴルにおける首都一極集中の課題と地方都市の現状
14:40	316 町田知未(日本大・院):北海道中川町における地域資源を活用した地域づくりに対する来訪者と住民の意識	416 渋谷鎮明(中部大):韓国における「白頭大幹」の評価と「脈」の論理
15:00	317 Tran, T. T.* (The United Graduate School of Iwate Univ.) and Watababe, R. (Yamagata Univ.): Effects of pollution on agriculture and rural households in craft village—case study of Tu Dan, Khoai Chau, Hung Yen, Viet Nam	417 原裕太(東京大):SDGsを指標とした中国黄土高原における既往研究の課題分析
15:20	318 元木理寿*(常磐大)・佐々木達(宮城教育大):土地改良事業からみた水管理の課題—大崎土地改良区を事例として	418 渡辺悌二(北海道大)ほか:人と観光関連物資運搬の家畜の歩行によるサガルマータ国立公園の登山道の荒廃
15:40	319 谷口晴彦(京都大・学振DC):農業水利施設の維持・利活用をめぐる行政と土地改良区の関係—大阪府泉北地域における災害対策の取組を事例に	419 渡辺和之(阪南大):宗教的祭礼と家畜交易—バングラデシュ・インド国境における牛交易の事例
16:00	320 河本大地(奈良教育大):農村地域における学校教育の在り方をESDから考える	420 落合康浩(日本大):パキスタン北部ゴジャール地区における生活の変容
16:20	321 岩本廣美(奈良教育大)ほか:奈良県南部山間地域における小中学校統廃合後の空き校舎の活用状況—奈良県野迫川村の事例を中心に	421 小泉佑介(上智大):インドネシア外島におけるアブラヤシ栽培の拡大とフロンティア社会の内部構造変化
16:40	322 山本卓登(東京大・学):中山間地域において保障すべき地域公共交通の水準の検討—長野県下伊那郡阿南町を事例として	
17:00		

第1日目 3月27日 (金) 午後

第 5 会 場	第 6 会 場	開始時刻
(気候)	(地形)	
511 加藤内蔵進(岡山大)ほか:ドイツ・北欧と日本の「夏」の気候と季節感の違いに注目した気候と音楽の学際的連携(ESD的視点を取り込んだ大学での授業開発)	611 堀 和明(名古屋大)ほか:養老山地東麓に分布する扇状地末端付近の堆積相と放射性炭素年代	13:00
512 中川清隆(立正大)ほか:遠心力およびコリオリ力,曲率項の幾何学的誘導	612 近藤玲介(皇學館大)ほか:北海道東部,根釧台地における海成段丘上の湿原の形成年代	13:20
513 日下博幸*・佐藤亮吾(筑波大):クラスター分析を用いた日本の気候区分	613 丹羽雄一*(中央大)・須貝俊彦(東京大):堆積相分布の沖積平野間比較に基づいた三陸海岸における地殻変動様式の推定	13:40
514 小野寺 平*(筑波大・学)・日下博幸(筑波大):清川だし吹走時の気温変化とその形成メカニズム	614 後藤秀昭(広島大):浅海底に分布する海底段丘の区分と地殻変動の検討—沖縄島北西沖と伊平屋伊是名諸島周辺を対象に	14:00
515 高橋日出男(首都大)ほか:東京西郊から都心における夜間の境界層温度構造に関する予察的解析	615 渡辺満久*(東洋大)・鈴木康弘(名古屋大):清正公道に沿って現れた2016年地表地震断層と地震被害	14:20
516 渡来 靖*・水野弘毅(立正大):関東平野における近年の暖候期の月別気温トレンド	616 石村大輔*(首都大)・山田圭太郎(立命館大):イベント堆積物中の礫の形態に着目した給源と運搬過程の推定—岩手県山田町小谷島の津波堆積物を例として	14:40
517 谷内浩平*(立正大・院)・渡来 靖(立正大):関東地方平野部における晴天日の日最高気温出現時刻の特徴	617 平峰玲緒奈(首都大・院)ほか:日本列島の現世海岸における漂着軽石の分布とその給源	15:00
518 神澤 望*・高橋 洋(首都大):2018年7月に日本で発生した高温現象時への太平洋・日本パターンの影響と夏季アジアモンスーンの季節進行の関係性	618 森脇 広(鹿児島大・名誉)ほか:南西諸島,喜界島におけるテフラと古砂丘の形成	15:20
519 小林 峻*(筑波大・学)・日下博幸(筑波大):ハノイの記録的高温に寄与した異なる時空間スケール現象		15:40
520 西 暁史*・日下博幸(筑波大):d4PDF領域モデル実験データにおける極端高温事例の再現性		16:00
521 遠藤伸彦*・西森基貴(農研機構):長野県伊那谷における春季低温イベントのNHRCMによる再現性と将来変化		16:20
		16:40
		17:00

第1日目 3月27日 (金) 午後

開始時刻	第 7 会 場	第 8 会 場
	〈セッション：台風19号〉	〈水文・植生〉
13:00	711 久保純子* (早稲田大)・高橋虎之介 (早稲田大・学) : 足立区千住地区における避難所の課題と2019年台風19号	811 郭 栄珠 (国土技術政策総合研) : 河川管理の三次元情報共有化に向けた取組みと今後の展望
13:20	712 福留邦洋 (岩手大) : 2019年台風19号における岩手県久慈市の避難者の傾向	812 小寺浩二 (法政大) ほか : 日本における河川水質の長期変動に関する水文地理学的研究 (1)
13:40	713 初澤敏生*・天野和彦 (福島大) : 災害時にコミュニティFMが果たす役割—令和元年台風19号へのULTRA FM (福島県須賀川市) の対応を例に	813 Ding, M. (Hokkaido Univ., Grad. Student) et al. : An analysis of hydrological characteristics in the tidal zone of Bekanbeushi river
14:00	714 小森次郎 (帝京平成大) : 令和元年台風19号による多摩川下流域の浸水被害	814 猪狩彬寛 (法政大・院) ほか : 草津白根山周辺地域の水環境に関する研究 (6)
14:20	715 青山雅史 (群馬大) : 2019年台風19号による都幾川流域浸水域の土地条件と治水対策	815 乙幡正喜 (法政大・学) ほか : 狭山丘陵の水環境に関する水文地理学的研究 (4)
14:40	716 中村祐希 (信州大・学) : 千曲川流域で生じた令和元年台風19号水害の浸水高や破堤堆積物からみた被害の特徴	816 矢巻 剛 (法政大・院) ほか : 長崎県島嶼の水環境特性と形成要因 (5)
15:00	717 南雲直子 (土木研) ほか : 丸森町の土砂・洪水氾濫に関する現地調査と地形解析	817 Shi, M.* (Hokkaido Univ., Grad. Student) and Shiraiwa, T. (Hokkaido Univ.) : Estimation of freshwater discharge from the Kamchatka Peninsula to its surrounding oceans
15:20	718 佐藤 浩 (日本大) *・宇根 寛 (無所属) : 2019年台風19号による宮城県丸森町における斜面崩壊のGIS解析	818 齋藤 圭 (法政大・院) ほか : ネパール・カトマンズ盆地流域の水環境に関する研究
15:40		819 大貫靖浩 (森林総合研) ほか : プナ林土壌の保水機能の定量的評価—岩手県安比高原における実証研究 : 第2報
16:00		820 宮城豊彦 (東北学院大・名誉) ほか : 全球ダイレクトセンシングによるマングローブ林分布状況把握 (予報)
16:20		821 安田正次 (アジア航測) : 全国植生調査データベースを用いた植物の気候的生育適地の分析
16:40		822 田代悠人 (東京農工大・院) ほか : 衛星データを用いたアムール川流域における永久凍土分布の可視化
17:00		

第1日目 3月27日（金） 午後

第 9 会 場		開始時刻
〈都市・交通〉		
911	清水 遼（東北大・学）ほか：人口減少社会における都市圏の空間構造変化—人口動態と市街化のミスマッチ	13:00
912	山下 潤（九州大）：都市の持続可能な移行におけるレジームの影響—日本の地方自治体を事例として	13:20
913	武田 泉*（北海道教育大）・松本涼太（北海道教育大・院）：北海道内JR地方路線に関する処遇の現状と課題の困難性—JR北海道問題への研究の枠組みの提示と、全道沿線自治体調査からの抽出点を中心に	13:40
914	牛垣雄矢（東京学芸大）ほか：木更津市におけるアクアライン開通に伴う通勤行動と商業立地の変化	14:00
915	楢引素夫（青森大）：人口減少地域における在来線・整備新幹線の利用状況と行方—津軽半島の住民調査から	14:20
916	鈴木美佳（大阪大）：日本の都市部におけるシェアサイクル運営の課題	14:40
917	生井澤幸子（川村学園女子大・名誉）：ハンブルクから独立後のクックスハーフェン港における港湾立地型産業の変容	15:00
〈セッション：地域・文化〉		
918	長尾洋子（和光大）：おわらの組織的プロデュースと祝祭的時空間の構築	15:20
919	内田忠賢（奈良女子大）：戦後復興期の都市祝祭の創出—高知よさこい祭りを中心に	15:40
920	遠城明雄（九州大）：1910年の福岡市と博多祇園山笠	16:00
921	田嶋 玲（明治大・院）：檜枝岐歌舞伎における上演空間と存立基盤の変容	16:20
		16:40
		17:00

第2日目 3月28日 (土) 午前

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
	〈セッション：防災教育〉	
9:00	131 村山良之（山形大）ほか：防災のための地形ミニマム・エッセンシャルズを求めて2—酒田市教育委員会防災教育研修会	シンポジウムⅡ 農村変化と地理学 —地域運営組織をめぐって—
9:20	132 阿部信也*（長岡市立東北中）・志村 喬（上越教育大）：防災教育の自校化の観点からみた小中学校現場の実態—新潟県三条市におけるアンケート調査結果	[オーガナイザー] 小島泰雄（京都大）・作野広和（島根大）
9:40	133 遠藤 尚*（東北学院大）・村山良之（山形大）：高知県における学校防災・防災教育の地域的差異	開始時刻 9:00
10:00	134 小保田春加（信州大・院）：震災デジタルアーカイブを活用した防災教育カリキュラム開発—2014年神城断層地震を事例に	[趣旨説明] 9:00-09:15 S201 小島泰雄（京都大）：農村変化と集落再編を形態論から考える
10:20	135 栗栖悠貴（国土地理院）ほか：自然災害伝承碑を活用した防災・地理教育支援	S202 9:15-9:30 作野広和（島根大）：地域運営組織の設立過程と地域的意義
10:40	136 小田隆史（宮城教育大）：東日本大震災の伝承を通じた教職員の防災力向上—被災地と未災地との交流の意義	S203 9:30-9:45 今里悟之（九州大）：地域運営組織と村落地理学
11:00	137 小岩直人（弘前大）：地域を嫌いにならない防災教育を	S204 9:45-10:00 金 料哲（岡山大）：地域運営組織は過疎地域再生の切り札になるか
11:20	138 澤 祥（鶴岡高専）：山形県庄内地方での活断層防災基礎教育—実践と課題	S205 10:00-10:15 中條暁仁（静岡大）：高齢社会化と地域福祉をめぐるコミュニティの再編成
11:40	139 古田 昇（徳島文理大）ほか：中山間高における遠隔配信とフィールドワークによる災害AL教育	S206 10:15-10:30 吉田国光（金沢大）：農業インフラの管理をめぐる様々な担い手と社会ネットワーク
12:00		S207 10:30-10:45 筒井一伸（鳥取大）：地域運営組織の可能性と直面する課題
		[コメント] 10:55-11:05 [総合討論] 11:05-12:00 終了時刻 12:00
	昼 休 み	

第2日目 3月28日（土） 午前

第 3 会 場	第 5 会 場	開始時刻
シンポジウムⅢ 地域格差問題への多様な アプローチ	〈地形〉	
<p>[オーガナイザー] 豊田哲也（徳島大）・長尾謙吉（専修大）・中谷友樹（東北大）</p> <p style="text-align: center;">開始時刻 9:00</p> <p>[趣旨説明] 9:00-9:10 豊田哲也（徳島大）</p> <p>S301 9:10-9:30 豊田哲也(徳島大):1970年代生まれ世代はなぜ結婚しないのか？—都道府県別に見た所得の地域格差と未婚率の分析</p> <p>S302 9:30-9:50 長尾謙吉（専修大）：「選択的」人口移動と就業機会の地理</p> <p>S303 9:50-10:10 浦川邦夫（九州大）：最低賃金が労働者の賃金水準に与える影響—福祉業の賃金水準の考察—</p> <p>S304 10:10-10:30 上杉昌也（福岡工業大）：都市圏における社会経済的居住地域分化の要因に関する実証分析</p> <p>S305 10:30-10:50 中谷友樹*（東北大）・埴淵知哉（中京大）：大都市圏内の居住地移動と健康</p> <p>S306 10:50-11:10 瀬田史彦（東京大）：人口減少局面の地域格差と空間計画—現代のプランニングは地域格差をどう考えているのか？</p> <p>[総合討論] 11:10-11:50</p> <p style="text-align: center;">終了時刻 11:50</p>	<p>531 山野博哉（国立環境研）ほか：完新世におけるサンゴ礁—マングローブ林共存系の発達過程</p> <p>532 中井達郎*（国土館大・非常勤）・長谷川均（国土館大）：喜界島の離水縁溝—縁脚系について—UAV画像による考察</p> <p>533 長谷川均（国土館大）ほか：沖縄島北東海岸における藻場の急激な時空間変化</p> <p>534 佐野 亘（九州大・院）ほか：サンゴ礁海草帯の堆積過程—琉球列島久米島の東部サンゴ礁における事例</p> <p>535 田中 圭（日本地図センター）ほか：久米島ハテナハマ洲島の近年の地形変化—リモートセンシングによる解析</p> <p>536 安達 寛（ジオアクト）：サンゴ礁地域における学術調査ボーリング—30年にわたる機材と技術開発から</p> <p>537 堀 信行（奈良大・研究員）：サンゴ礁研究を豊かにするために</p> <p>538 菅 浩伸（九州大）ほか：与那国島沿岸の海底地形—マルチビーム測深と潜水調査による浅海底地形研究</p>	<p>9:00</p> <p>9:20</p> <p>9:40</p> <p>10:00</p> <p>10:20</p> <p>10:40</p> <p>11:00</p> <p>11:20</p> <p>11:40</p> <p>12:00</p>
<p style="font-size: 2em; margin: 0;">昼 休 み</p>		

第2日目 3月28日 (土) 午前

開始時刻	第 6 会 場	第 7 会 場
	〈地形〉	〈地域計画〉
9:00	631 澤柿教伸* (法政大)・箕輪昌紘 (チリ・アウストラル大) : パタゴニア・ヴィエドマ氷河における氷食基盤岩地形と炭酸塩堆積物	731 竹中克行 (愛知県立大) : スペイン・カタルーニャ自治州のランドスケープ政策—ランドスケープへの関心と政策の地理学的基盤
9:20	632 奈良間千之 (新潟大) ほか : ケニア山における小型氷河の質量収支	732 齊藤由香 (金城学院大) : 文化遺産の景観的価値を解釈する—スペイン・アンテケラのドルメン遺跡における景観マネジメント
9:40	633 杉山博崇 (新潟大・院) ほか : 北アルプス・白馬大雪渓周辺における岩盤斜面の地形変化	733 美谷 薫 (福岡県立大) : 福岡県田川地域における行政・公共的団体の地域システム
10:00	634 奥山 駿 (新潟大・学) ほか : 天山山脈北部地域の氷河起源型岩石氷河の空間分布と地表面変動	734 植村哲士 (野村総合研) : 宅地から農地への土地利用変化を分析するための国土数値情報土地利用細分メッシュデータ利用の妥当性検討
10:20	635 澤田結基 (福山市立大) ほか : 岩塊斜面の局地的永久凍土を対象とした2cm間隔のセンサーを用いた地温測定	735 田中晃代 (近畿大) : 都市近郊農村地域における地域活性のあり方に関する研究—兵庫県特別指定区域を事例とする
10:40	636 有江賢志朗 (新潟大・院) ほか : 唐松沢氷河の年間流動	736 寺田好秀 (慶應義塾大・院) : 自治体の持続可能な開発目標への取り組みと地域の魅力に関する計量的分析—SDGs未来都市と自治体SDGsモデル事業
11:00	637 王 婷* (北海道大・院)・渡辺悌二 (北海道大) : 無管理キャンプサイトの荒廃—大雪山国立公園の黒岳旧・現キャンプサイトの事例	737 佐藤 洋 (東京大・院) : 地方税の徴収率からみた地域格差—大都市圏に焦点を当てて
11:20		738 安本晋也* (中部大)・中谷友樹 (東北大) : 健康格差の要因としての環境正義—大阪府における夜間の騒音と日照の健康影響の分析
11:40		
12:00	<p style="font-size: 2em; margin: 0;">昼 休 み</p>	

第2日目 3月28日 (土) 午前

第 8 会 場	第 9 会 場	開始時刻
<p>〈歴史・文化②〉</p> <p>831 轟 博志 (立命館アジア太平洋大) : 地籍原図を活用した新羅幹線駅路の推定</p> <p>832 飯沼健悟 (岐阜県土地家屋調査士会) : 明治期作製地籍図からみえる岐阜市街地の道路拡幅</p> <p>833 野上道男 (東京都立大・名誉) : 『周髀算経』の一寸千里法記述における論理的破綻</p> <p>834 宇都宮陽二郎 (三重大・名誉) : Laksman貸与の東西両半球図に由来する複製地図に関する一考察</p> <p>835 鳴海邦匡* (甲南大)・小林 茂 (大阪大・名誉) : 近世日本で作製された絵図のヨーロッパにおける利用</p> <p>836 細井將右 (地図情報研) : 明治初期ジュルダンらの新潟港図ほかと『地図彩式』</p> <p>837 原 雄一 (京都先端科学大) : 大阪24区・街の記憶の痕跡に関する研究</p> <p>838 山田晴通 (東京経済大) : 福島県中通り南部地域における小規模日刊地域紙の存立形態</p>	<p>〈湿地・水環境〉</p> <p>931 大坪亮太 (駒澤大・院) : 黒部市における水をめぐる価値の変遷—テキストマイニングを用いた分析</p> <p>932 河村 光 (岡山大・院) : 福井県大野市における湧水の利用と維持管理</p> <p>933 小林聡史 (釧路公立大) : ラムサール条約における湿地の保全及びワイズユース再考</p> <p>934 富田啓介 (愛知学院大) ほか : 小規模湿地保全団体の特徴とその活動が維持・増大させる生態系サービス</p> <p>〈社会〉</p> <p>935 原口 剛 (神戸大) : 港湾労働者の労災職業病闘争と「空間の政治」—神戸港の「港湾病」認定闘争を事例として</p> <p>936 中島芽理 (神戸大・院) : アルコール依存症からの回復の場所—断酒会における中高年シングル男性の事例から</p> <p>937 松岡由佳 (奈良女子大・院) : 和歌山市における精神障がい者支援の運動の展開過程</p> <p>938 新井智一 (桜美林大・非常勤) : 八王子食肉処理場の廃止とその機能地域をめぐり予察的考察</p>	<p>9:00</p> <p>9:20</p> <p>9:40</p> <p>10:00</p> <p>10:20</p> <p>10:40</p> <p>11:00</p> <p>11:20</p> <p>11:40</p> <p>12:00</p>
<p>昼 休 み</p>		

第2日目 3月28日 (土) 午後

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
13:00	<p style="text-align: center;">第37回地理教育公開講座</p> <p style="text-align: center;">世界地誌学習の新たな方向性 —ヨーロッパ—</p> <p style="text-align: center;">日本地理学会地理教育公開講座委員会 共催：日本地理教育学会</p> <p style="text-align: center;">開始時刻 13:00</p> <p>[趣旨説明] 13:00-13:10 田部俊充(日本女子大)・永田忠道(広島大)</p> <p>13:00-13:40 加賀美雅弘(東京学芸大)：BrexitからアプローチするEU/ヨーロッパ理解</p> <p>13:40-14:10 植松希世子(横浜国立大)：フィンランドの視点から考える地理教育のグローバル化に向けた展開と課題</p> <p>14:10-14:40 高木 優(神戸大学附属中等教育学校)：地理総合での地球的課題を主題とした学習が地理探究での地誌学習にどのようにつながるか</p> <p>[コメント] 14:50-15:10 永田忠道(広島大)</p> <p>[質 疑] 15:10-15:30</p> <p>[総 括] 15:30-15:50 濱野 清(文部科学省)</p> <p>[挨拶・次回予告] 15:50-16:00</p> <p style="text-align: center;">終了時刻 16:00</p> <p style="text-align: center;">公開講座地理総合講習会</p> <p style="text-align: center;">地域調査と学習評価</p> <p style="text-align: center;">開始時刻 16:00</p> <p style="text-align: center;">終了時刻 17:30</p>	<p style="text-align: center;">シンポジウムIV</p> <p style="text-align: center;">ヨーロッパの農村移住 —その背景・実態・意義—</p> <p style="text-align: center;">〔オーガナイザー〕山本 充(専修大)</p> <p style="text-align: center;">開始時刻 13:00</p> <p>[趣旨説明] 13:00-13:10 山本 充(専修大)</p> <p>S401 13:10-13:30 山本 充(専修大)*・中川聡史(埼玉大)：EUにおけるモビリティの増大と都市・農村間人口移動</p> <p>S402 13:30-13:50 飯塚 遼(帝京大)：スコットランド・ブラックアイルにおけるモビリティの増大による農村変容</p> <p>S403 13:50-14:10 市川康夫(埼玉大)：フランス田園回帰にみる農村移住の展開—「大地への帰還」から家族の理想郷へ</p> <p>S404 14:10-14:30 Ernst Steinicke (University of Innsbruck, Austria): New highlanders in the European Alps: The end of the depopulation in peripheral areas?</p> <p>S405 14:30-14:50 飯嶋曜子(明治大)：EUにおける農村振興政策と農村移住—オーストリア・チロル州の事例</p> <p>S406 14:50-15:10 伊藤徹哉(立正大)：ヨーロッパにおける交通インフラの整備を通じたモビリティの持続的発展—ミュンヘン大都市圏の事例を中心に</p> <p>[休 憩] 15:10-15:20</p> <p>[コメント] 15:20-15:30 中川秀一(明治大)</p> <p>[総合討論] 15:30-16:00</p> <p style="text-align: center;">終了時刻 16:00</p>
17:30		

第2日目 3月28日（土） 午後

第 3 会 場		開始時刻
<p>シンポジウムV（公開） 頻発する大規模水害にどう 備えるか —地理学からの発信— 日本地理学会災害対応委員会 [オーガナイザー] 久保純子（早稲田大）・ 熊木洋太（専修大）・鈴木康弘（名古屋大） 開始時刻 13:00</p> <p>[趣旨説明]13:00-13:10 オーガナイザー</p> <p>S501 13:10-13:30 平井史生（駒澤大・非常勤）：西日本 の豪雨と東日本の台風被害</p> <p>S502 13:30-13:50 近藤昭彦（千葉大）：2019年秋季の千 葉県の連続災害</p> <p>S503 13:50-14:10 須貝俊彦（東京大）：頻発する大規模 水・土砂災害に挑む流域管理地形学</p> <p>S504 14:10-14:30 山口 勝（NHK）：メディアの災害情報 伝達における地理情報の重要性</p> <p>[質疑(1)]14:30-14:40</p> <p>[休 憩]14:40-14:50</p> <p>S505 14:50-15:10 初澤敏生（福島大）：福島県本宮市に における令和元年台風19号被災地域の商 店再開状況</p> <p>S506 15:10-15:30 加藤一郎（埼玉県立坂戸西高）：高校 地理教育における水害の扱い</p> <p>S507 15:30-15:50 牛山素行（静岡大）：2019年台風19号 による犠牲者発生場所の特徴</p> <p>S508 15:50-16:10 松原 宏（東京大）：令和元年台風15号・19 号の被害と国土政策</p> <p>[質疑(2)・総合討論]16:10-16:30</p> <p style="text-align: center;">終了時刻 16:30</p>		<p>13:00</p> <p>17:00</p>

第1・2日目 3月27・28日 (金・土)

ポスター会場

ポスター発表

ポスター発表は、3月27日(金)9時～18時20分までと3月28日(土)9時～12時10分まで、ポスター会場で行います。コアタイムは、3月27日(金)17時50分～18時20分もしくは3月28日(土)11時40分～12時10分の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。

P101	伊藤修一(駒澤大・非常勤)：大学生による東京都内の市区町村の名称と位置の認知の時系列的傾向	P112	田中健作(高知大)：加齢によるモビリティ低下への適応—京阪神大都市圏郊外の事例
P102	淡野寧彦(愛媛大)：タビオカで、地域も「映える」のか?—愛媛県松山市中心部の大街道・銀天街商店街に関する大学生による手描き地図の変化を手がかりに	P113	畑中健一郎(長野県環境保全研)ほか：長野県内市町村は生物多様性保全の現状をどう認識しているか
P103	鎌倉夏来(東京大)：技術イノベーションシステムの地理的特徴—AI関連技術の事例	P114	河合昭宣(筑波大・院)：中山間地域におけるUAVを用いた水稻の生育差に関する空間分析—新潟県魚沼市福山新田を事例として
P104	高橋重雄*(青山学院大)・武田直己(青山学院大・院)：サテライトオフィスの誘致による地域活性化施策の分析	P115	浦山佳恵*・畑中健一郎(長野県環境保全研)：霧ヶ峰高原における伝統的草地利用—茅野市北山柏原区の事例
P105	崎田誠志郎*(学振PD・国立民族学博)・松井 歩(名古屋大・学振DC)：北海道岩宇地域における地域商社事業を介したナマコの生産・販売体制の構築	P116	伊藤千尋(広島女学院大)：山間部集落における住民の生活と地域間ネットワークの動態—高知県吾川郡いの町本川を事例に
P106	乃木健太郎*(島根大・学)・菊池慶之(島根大)：出雲大社神門通りにおける「平成の大遷宮」を契機とした景観の再構成	P117	横山貴史(立正大)ほか：宮城県名取川堤外地における農地利用の実態と浸水リスク
P107	宇井直将(駒澤大・院)：首都圏郊外における駅前景観の類型と地域差—画像上でのピクセル数を単位とした広告割合に着目して	P118	両角政彦(都留文科大)：2019年9月の台風15号による千葉県園芸施設被害
P108	松井 茜(筑波大・院)ほか：代官山の集合住宅にみる言語景観の特性—オシャレな地域、代官山の住まいの変化	P119	高橋昂輝(香川大)：移民の島の観光戦略—瀬戸内のハワイ・周防大島の創造
P109	升一亜海(筑波大・院)ほか：言語とフォントで形作られる都市景観—代官山のカフェ・喫茶店の言語景観に注目して	P120	浅見岳志(筑波大・院)ほか：茨城県鹿行南部におけるスポーツ合宿の特性と地域間連携の可能性
P110	小原丈明(法政大)：2010年代以降の市街地再開発事業の実施展開	P121	安 哉宣(高知大・研究員)：韓国における対日航空路線の就航パターン
P111	柴田 嶺(東北大・院)ほか：GTFSを用いた仙台市地下鉄東西線開業前後の時空間アクセシビリティ変化に関する研究	P122	坂本優紀(筑波大)：福島県川俣町における外来音楽文化の受容

第1・2日目 3月27・28日 (金・土)

ポスター会場

ポスター発表

ポスター発表は、3月27日(金)9時～18時20分までと3月28日(土)9時～12時10分まで、ポスター会場で行います。コアタイムは、3月27日(金)17時50分～18時20分もしくは3月28日(土)11時40分～12時10分の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。

- | | | | |
|------|---|------|---|
| P123 | 西尾さつき(名古屋大・院)：社会的な存在としての外来種—農業分野におけるジャンボタニシを事例として | P134 | 黒田圭介*(西南学院大・非常勤)・宗建郎(志學館大)：空中写真を用いた簡便なオブジェクト分類による土地被覆抽出方法 |
| P124 | 府和正一郎(北陸大・非常勤)：能登地方における主要神社の野外寄進物 | P135 | 竹内 峻(広島大・院)ほか：平成30年7月豪雨の被災記録資料の地図化の試み—防災教育での利用に向けて |
| P125 | 陳 效娥(奈良女子大・院)：セクシュアル・マイノリティが集まる都市の盛り場—大阪市堂山町を事例として | P136 | 阪上弘彬*(兵庫教育大)・山内洋美(宮城県塩釜高)：「持続可能な開発」の考え方を学ぶ地理学習の開発と実践—持続可能なトライアングルモデルの活用可能性 |
| P126 | 洪 明真(首都大・研究員)：明治後期の東京銀座における土地所有者の動向—『東京市及接続郡部地籍台帳』による | P137 | 伊藤直之(鳴門教育大)：汎用的な資質・能力の育成を担う地理授業—思考ツールの活用を通して |
| P127 | 小本修司(大阪市立大・院)ほか：小地域統計を利用した明治行政村単位での再集計の提案—和歌山県の国勢調査を事例に | P138 | 加藤由翔(駒澤大・学)ほか：大学サークル「駒澤大学地理学研究会」の活動と課題 |
| P128 | 飯塚隆藤(愛知大)ほか：「鴨川古写真GISデータベース」の構築と河川環境の変遷分析—四条大橋を中心に | P139 | 渡邊三津子(片倉もとこ記念沙漠文化財団)ほか：片倉もとこフィールド調査写真を用いたサウディ・アラビア、ワーディ・ファアティマ地域の景観変化の検証の試み |
| P129 | 小林 茂(大阪大・名誉)：終戦直前期の多田文男と兵要地理調査研究会—大学所蔵外邦図の来歴に関連して | P140 | 遠藤 仁(人間文化研究機構)ほか：インド北東部におけるインパール作戦時の日本兵に関する記憶と影響の聞き書き |
| P130 | 小林 護(エイテック)ほか：駒澤大学地理学科所蔵外邦図のインデックスマップ作成 | P141 | 柳田健一郎(名古屋大・院)：タイ東北部の魚発酵食品生産—ナコーン・パノム県における自給的生産と商業的生産の比較 |
| P131 | 村上優香(駒澤大・学)ほか：外邦図を用いたジオリファレンス—バタビア基準外邦図での事例 | P142 | 高木 仁(国立民族学博・研究員)：原石を探して—地理学者と歩いた8年 |
| P132 | 荒堀智彦(首都大)：感染症予防と制御を目的とした疾病地図の利用状況と地域差 | P143 | 千葉 晃(練馬区立石神井西中)：東日本大震災被災当日に降雪が確認できたエリアの特定—動画投稿サイトと生徒作文を情報源として |
| P133 | 林 武司(秋田大)ほか：GISを用いた湯沢市稲川地区のウルシ栽培適地の検討 | P144 | 黒木貴一*(福岡教育大)・岩船昌起(鹿児島大)：地形及び地形量指標による避難所立地の安全性評価 |

第1・2日目 3月27・28日 (金・土)

ポスター会場

ポスター発表

ポスター発表は、3月27日(金)9時～18時20分までと3月28日(土)9時～12時10分まで、ポスター会場で行います。コアタイムは、3月27日(金)17時50分～18時20分もしくは3月28日(土)11時40分～12時10分の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。

- | | | | |
|------|---|------|---|
| P145 | 福士沙織(茨城大・院)ほか:古地図から復元した1847年善光寺地震の松代町における建物被害分布と常時微動観測から推定される表層地質との関係 | P156 | 手代木功基(摂南大)ほか:石鎚山系瓶ヶ森に分布するウラジロモミの分布特性 |
| P146 | 竹内裕希子(熊本大)ほか:平成28年熊本地震3年半経過時点における住民の防災対策状況 | P157 | 成田憲二(秋田大)ほか:湯沢市稲川地区のウルシ林の現状について |
| P147 | 堀 健彦(新潟大):『震潮記』所載「穴喰浦荒図面」にみる1854年南海地震津波被害 | P158 | 吉田圭一郎(横浜国立大)ほか:ミズナラ二次林の20年間の林分構造の変化 |
| P148 | 青木賢人*・林 紀代美(金沢大):学校現場・教育委員会・研究者の協同による事前防災の推進—その① 問題点の整理 | P159 | 濱 侃*(学振PD・横浜国立大)・吉田圭一郎(横浜国立大):八ヶ岳南東麓におけるドローンを用いたミズナラ二次林のモニタリング |
| P149 | 橋本 操(岐阜大)ほか:「海から視線」の防災—海上浮体構造物が海からの津波避難へ与える影響の検討 | P160 | 渡邊裕太(石川県立大・院)ほか:衛星データによるトレンサップ湖氾濫観測手法の開発と水温変動解析 |
| P150 | 吉野 裕(帝京大):東日本大震災の被災地における祭礼文化の継承と現況—宮城県石巻市北上町の法印神楽を事例として | P161 | 小林朋子(法政大・学)ほか:北海道函館市の水環境に関する研究(1) |
| P151 | 研川英征(国土地理院)ほか:自然災害伝承碑の情報公開 | P162 | 山形えり奈(法政大・学)ほか:阿武隈川流域の水環境に関する研究(1) |
| P152 | 後藤健介(大阪教育大):災害伝承を教訓とするための発展的アクティブラーニング防災教育教材の開発に関する研究 | P163 | 甲斐憲次(茨城大)ほか:定山溪の温泉水が豊平川の水質に与える影響と札幌の水道事業について—茨城大学教育学部地理学野外実習の報告 |
| P153 | 廣内大助(信州大)ほか:2019年10月台風19号の長野県千曲川流域における洪水被害 | P164 | 中村友美(駒澤大・学)・鈴木秀和*(駒澤大)ほか:石垣島白保地区における地下水の水質特性 |
| P154 | 吉村亮志*(新潟大・学)・奈良間千之(新潟大):北アルプス・白馬大雪渓における雪渓崩落 | P165 | 佐々木夏来*・須貝俊彦(東京大):仙岩火山地域の上岳湿地における土壌水分特性の季節変動 |
| P155 | 田村 岳(首都大・学)ほか:ウランバトル北部バルーンサラー地区における植生景観としてのエコトーン | P166 | 北原舜太(法政大・学)ほか:2018年新燃岳噴火以後の霧島火山周辺の水質の変化(3) |

第1・2日目 3月27・28日 (金・土)

ポスター会場

ポスター発表

ポスター発表は、3月27日(金)9時～18時20分までと3月28日(土)9時～12時10分まで、ポスター会場で行います。コアタイムは、3月27日(金)17時50分～18時20分もしくは3月28日(土)11時40分～12時10分の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。

- | | |
|--|---|
| P167 佐藤篤来(法政大・学)ほか:三宅島における火山活動の影響を考慮した水環境の変化に関する研究(1) | P178 木口雅司(東京大)ほか:インド亜大陸東北部における大気鉛直構造の季節変化 |
| P168 重野拓基(東京学芸大・院)ほか:日平均気温と平年値との偏差に基づく暑熱・冷涼日における熱ストレスの発生特性—熊谷市を対象とした複数年の調査から | P179 室井和弘*(専修大・学)・赤坂郁美(専修大):日本付近における冬季低気圧経路の気候学的特徴 |
| P169 瀬戸芳一*・高橋日出男(首都大):関東平野における近年の風系変化の把握に向けた地表面粗度による観測風の補正手法 | P180 高橋 萌(東京学芸大・学)ほか:児童の季節認識と言語活動—小学校5年生における詩表現の分析から |
| P170 岡 暁子(首都大・研)ほか:東京とその周辺域における夏季の局地的な強雨発現頻度日変化の地域性 | P181 佐藤善輝(産業技術総合研):三重県・宮川平野における沖積層の堆積過程 |
| P171 浜田純一(首都大)ほか:大気静電界観測に基づく東京多摩地域の雷雲活動に関する研究—2019年5月4日降雹事例解析 | P182 宮本 樹(東京大・院)ほか:鬼怒川低地帯南部で掘削された複数のボーリングコアに基づく堆積相解析と第四紀後期の古地理変遷 |
| P172 山口隆子*(法政大)・松本昭大(法政大・院):伊豆諸島における島霧発生条件の気候学的推定 | P183 石原武志(産業技術総合研)ほか:福島県における地質調査孔を用いた簡易熱応答試験結果と地形・地質条件との関係 |
| P173 堀内雅生(法政大・院)ほか:桜島にある黒神風穴の確認 | P184 三條竜平(東北大・院):実験的手法を用いた北海道アトサヌプリカルデラ形成過程の検討 |
| P174 勝又優里*(専修大・学)・赤坂郁美(専修大):箱根外輪山における偏形樹と風系との関係 | P185 福井幸太郎(富山県立山カルデラ砂防博)ほか:南極半島ジェームズロス島のデブリ氷河の1992～2017年の流速と氷厚の変化 |
| P175 赤坂郁美(専修大)ほか:1868～1900年のマニラにおける卓越風と降水量の季節進行 | P186 松本広祐(新潟大・院)ほか:ネパール,ランタン・リルン峰における平常時の懸垂氷河崩落の特徴 |
| P176 大山 駿*(日本大・院)・森島 済(日本大):客観解析により抽出される前線帯とその北半球における分布の特徴 | P187 清水長正(早稲田大・非常勤)ほか:信州小諸・氷風穴周辺の地すべり地形と風穴小屋内の氷の消長 |
| P177 高橋信人(宮城大):北半球の1月と7月における前線帯の南北変動 | P188 佐藤 剛(帝京平成大)ほか:アイトラッキングを用いた専門家による地すべり地形判読プロセスの可視化 |

第1・2日目 3月27・28日 (金・土)

ポスター会場

ポスター発表

ポスター発表は、3月27日(金)9時～18時20分までと3月28日(土)9時～12時10分まで、ポスター会場で行います。コアタイムは、3月27日(金)17時50分～18時20分もしくは3月28日(土)11時40分～12時10分の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。

- | | |
|---|---|
| P189 井上 穰(新潟大・学)ほか:上越地区、雁平地すべり地形の表層変化 | P200 吉村光敏*・八木令子(千葉県立中央博):養老川中流、市原市田淵付近の穿入蛇行跡と連続型川廻し地形 |
| P190 井口 豊(生物科学研):長野県岡谷市大川流域の地すべり地形と御岳第一テフラの分布 | P201 田力正好*(地震予知総合研究振興会)・中田 高(広島大・名誉):北上山地における新たな活断層の発見(速報) |
| P191 荻谷愛彦(専修大)ほか:上高地・上宮川谷沖積錐における巨礫の分布とその供給・移動・定置様式 | P202 熊原康博(広島大)ほか:ブータンヒマラヤ南西山麓の活断層の特徴 |
| P192 木村恵樹*(専修大・学)・荻谷愛彦(専修大):山梨県身延町栲代における更新世後期の大規模斜面崩壊 | P203 小松原 琢(産業技術総合研):日本弧における非地震性地殻変動の分類案 |
| P193 八反地 剛(筑波大)ほか:放射性炭素年代に基づく谷頭凹地堆積物の堆積時期—山口県防府市の表層崩壊地の事例 | P204 壇 綾女(弘前大・院)ほか:小型UAVによるタイ南西部バカラン岬周辺のマイクロアトールおよび津波石の空間分布把握 |
| P194 岩瀬東吾*(明治大・学)・吉田英嗣(明治大):九州山地における重力性低崖地形の分布規定要因 | P205 山中 瑩(広島大・院)ほか:小型で廉価な簡易RTK-GNSS受信機の作成と地形研究への適用 |
| P195 太田義将(京都大・院)ほか:隆起速度の増加に対する流域地形の過渡的応答—六甲山地を例とした地形発達の定量的モデリングとその検証 | |
| P196 田中 靖(駒澤大)ほか:LiDAR 1-m DEMを利用した豪雨による表層崩壊危険度マップの作成 | |
| P197 吉岡美紀*(日本地理学会会員)・澤柿教伸(法政大):GNSSと航空レーザ測量データを用いた河川敷の標高変化計測—2019年台風19号通過後の多摩川中流域 | |
| P198 石黒聡士*(愛媛大)・後藤秀昭(広島大):与論島北東沖の礁嶺地形の高精細な地図化と地殻変動の検討 | |
| P199 西脇圭一郎(駒澤大・院):日本列島における天井川の分布とその成因 | |